allcinema

# 大怪獣ガメラ（1965）

GAMMERA THE INVINCIBLE

**メディア** 映画
**ジャンル** ファミリー　特撮
**製作国**　日本
**色彩**　B&W
**時間**　79分
**初公開日** 1965/11/27
**公開情報** 大映

**【解説】**
　北極海上で原爆を積んだ国籍不明機が米軍機によって撃墜され、氷山に墜落した。このため、積んでいた原爆は爆発、氷山に閉じ込められていたエスキモーの伝説の怪獣ガメラが蘇った。巨大な亀怪獣ガメラはその後姿を消し、入れ替わるかのように世界中で謎の空飛ぶ円盤が目撃される。人々の関心が空飛ぶ円盤に移り、ガメラのことが忘れられた頃、再びガメラが北海道にその姿を現した。自衛隊の作戦で仰向けにひっくり返されたガメラ。起き上がることの出来ないガメラに人々は勝利を確信するが、その目の前でガメラは頭と手足を甲羅の中に引き込むと、手足の穴からジェット噴射を行い、空に飛び去っていった。謎の空飛ぶ円盤はガメラの飛行形態だったのだ！　やがてガメラは東京に上陸、東京は火の海と化す。対策本部は火炎などの熱エネルギーを好むガメラの性質に気付き、洋上に火をつけてガメラを伊豆大島まで誘導、そこで建造中であったＺプランと言われる火星行きロケットにガメラを乗せ宇宙に追放してしまう。
　大映初の怪獣映画。ストーリー自体は怪獣映画の基本とも言える内容だが、この作品では怪獣の特徴、性質を詳細に設定し、ストーリーの中で効果的に活用している。シリーズ化された本作以降の作品でもこの方法は踏襲されて行く。特撮面ではお馴染み回転ジェットの描写に操演の他にセルアニメーションを使用し、以降の作品とは違った飛行のスピード感を表現している。東宝のゴジラを始めとする特撮シリーズの成功に他の映画会社もこれに追随しようとした。ガメラもその中のひとつだが、他には見られないガメラのユニークなキャラクターは人気を博し、現在に至るまでその人気をゴジラとを２分している。

【登場怪獣】ガメラ

**【クレジット】**
**監督**　湯浅憲明
**製作**　永田雅一
**企画**　斉藤米二郎
**脚本**　高橋二三
**撮影**　宗川信夫
**編集**　中静達治
**音楽**　山内正
**特技・美術**　井上章
**特技・合成**　藤井和文
**特技・撮影**　築地米三郎
**特技・操演**　関谷治雄
**特技・助監督**　石田潔
**出演**　船越英二　　日高（動物学者）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

| | |
|---|---|
| 姿美千子 | 桜井信代 |
| 霧立はるみ | 山本京子（日高の助手） |
| 山下洵一郎 | 青柳（日東新聞カメラマン） |
| 北原義郎 | 桜井（灯台守） |
| 内田喜郎 | 桜井俊夫 |
| 浜村純 | 村瀬（古生物学者） |
| 吉田義夫 | エスキモーの老酋長 |
| 左卜全 | 百姓 |
| 北城寿太郎 | 自衛隊司令官 |
| 藤山浩二 | 米軍基地司令官 |
| 大川修 | 米軍基地レーダー員 |
| 小山内淳 | ちどり丸船長 |
| 中田勉 | 魚兼の主人（俊夫の叔父） |
| 森矢雄二 | アナウンサー |
| 大山健二 | 防衛庁長官 |
| 村田扶実子 | 百姓 |
| 高田宗彦 | |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.